

阿佐ヶ谷駅等周辺



まちづくりニュース 第3号



発行：平成 29 年 6 月

杉並区都市整備部まちづくり推進課

阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり方針(案)の 説明会と意見募集を行います！

杉並区では、阿佐ヶ谷駅等周辺のまちの将来像と目標、その実現に向けた取組の方向性を明らかにする「まちづくり方針」の策定に取り組んできました。

昨年6月には、方針の中間まとめを行い、オープンハウスの開催等により、多くの地域の皆さまからのご意見をいただき、検討を進めてきたところです。

このたび、「阿佐ヶ谷駅北東地区のまちづくり」に係る内容を含む「杉並第一小学校等施設整備等方針」を5月に決定したことを受け、これを反映するなど、まちづくり方針(案)をとりまとめましたので、その概要(2～6ページ)とともに、説明会の開催(下記)と意見募集の実施(8ページ)についてお知らせします。

※まちづくり方針(案)の詳細については、6月12日(月)より区の公式ホームページでもご覧いただけます。

(検索方法：トップページー区政情報ー都市整備ー駅周辺まちづくりー阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり)

■説明会(オープンハウス形式)のご案内

まちづくり方針(案)について、パネルの展示等によりご説明し、皆さまからご意見をお聞きする「説明会(オープンハウス形式)」を下記のとおり開催します。事前の申し込み等は不要で、開催時間中はいつでもご来場いただけます。

★オープンハウス

会場にパネル等で資料を展示し、来場された皆さまに区の担当職員等が直接説明する形式

説明会(オープンハウス形式)の開催日時・場所

日 時	場 所
6月16日(金) 17時～20時	阿佐谷地域区民センター 第6集会室(2階)
6月17日(土) 10時～14時	阿佐谷地域区民センター 第4集会室(3階)
6月18日(日) 11時～15時	阿佐ヶ谷中学校 開放会議室(1階)
6月19日(月) 11時～17時	パールセンターふるさと館 1階及び2階ギャラリー



お問い合わせ

杉並区 都市整備部 まちづくり推進課 拠点整備係

電話：03-3312-2111(内線3383)

FAX：03-3312-2907

E-mail：tosisaisei-t@city.suginami.lg.jp

阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり方針(案)【概要】

■策定の背景と目的

- 商店街のにぎわいや優れた交通利便性と、周辺の閑静な住環境とが共存した成熟したまちです。
- 古くから区役所等の公共施設が集積するなど、官庁街（シビックゾーン）ともいべき区の中心的な拠点のひとつとなっています。
- 後背地には基盤未整備な木造住宅密集地域を抱え、首都直下地震等に備えて防災性の強化や基盤整備が喫緊の課題となっています。

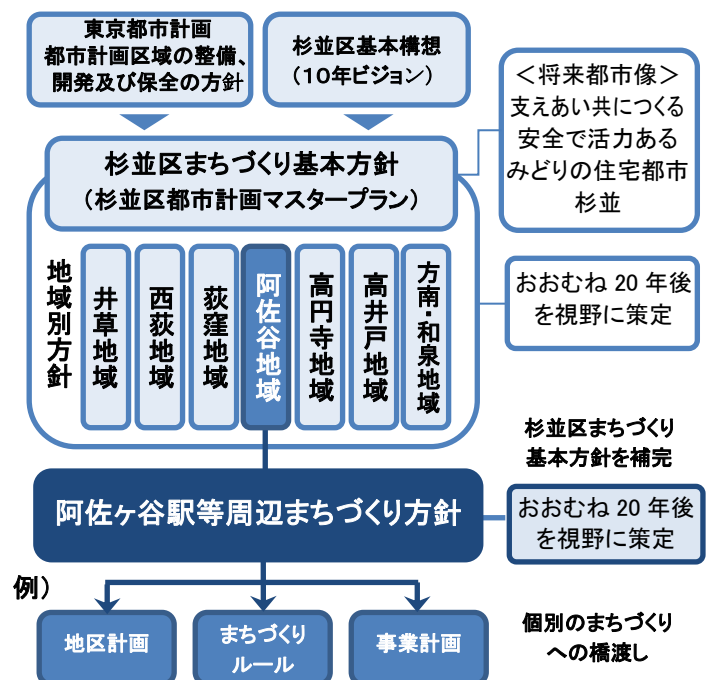
まちづくりの契機

- 公共施設など、建替え時期を迎えつつある建物が多くあります。
- 都市計画道路補助 133 号線の区役所前～五日市街道間（中杉通りの延伸）が、『東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）』において優先整備路線（今後 10 年間に優先的に整備すべき路線）に位置づけられました。
- 地域主体でまちの将来像を考えるなどまちづくりの活動が活発化しています。

市街化が進み成熟した阿佐谷地域において、まちの課題を解決し、その良さを将来に向かって伸ばしていくためには、変化のきっかけを的確に捉えてまちづくりに取り組むことが不可欠です。これからの数年間を、将来のまちづくりにつながる数十年に1度の機会と捉え、戦略的にまちづくりを進めていくため、本方針を策定します。

■位置づけ

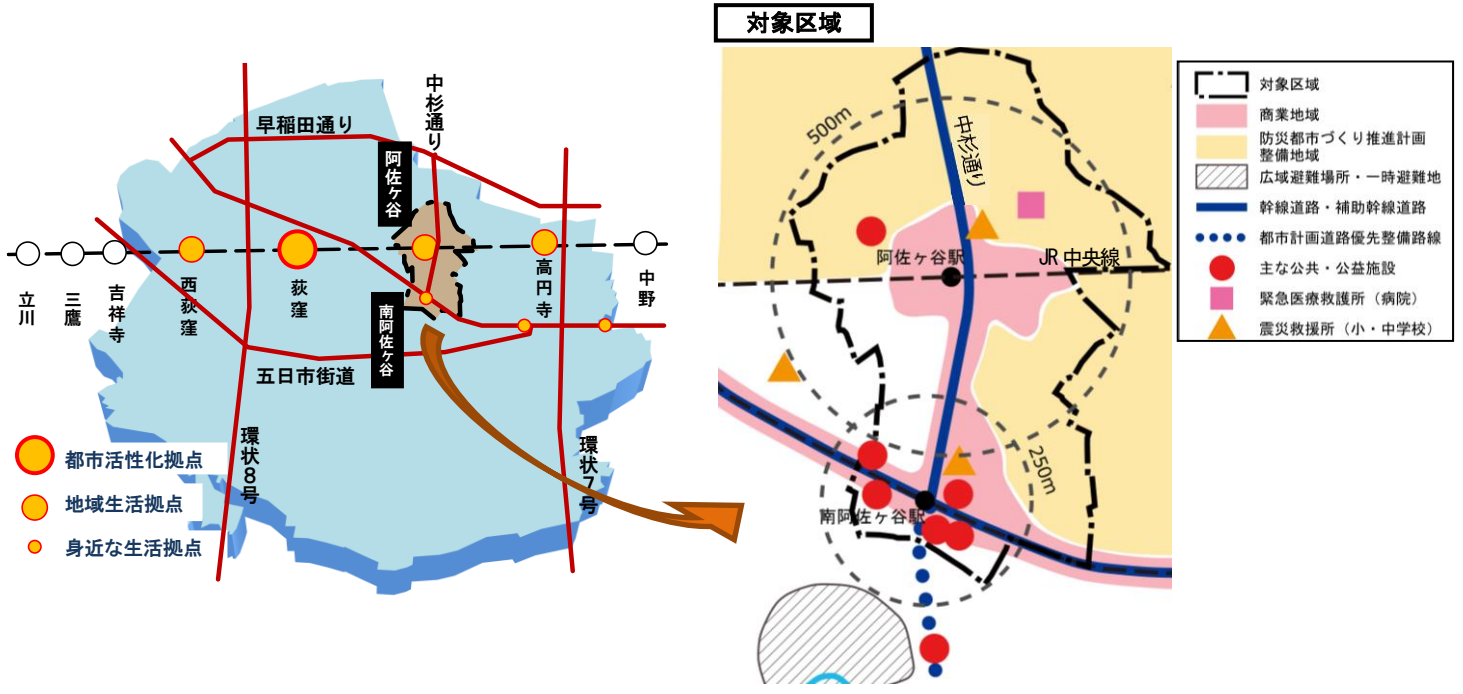
- 既定の上位計画や関連計画等を前提としながら、『杉並区まちづくり基本方針(杉並区都市計画マスタープラン)』（平成 25 年度）の地域別方針（阿佐谷地域）を補完するものとします。
- 『杉並区まちづくり基本方針』にあわせ、おおむね 20 年後の未来を視野に入れたものとします。
- まちの将来像やその実現のための取組の方向性を示す「まちのランドデザイン」として、区民・事業者・行政が共有するものとします。
- 個別地区のまちづくりへの橋渡しとなるものとします。
- 喫緊の課題の解決に効果の高い取組等への重点化を図り、それらについては具体化に向けて優先的に取り組めます。



対象区域

阿佐ヶ谷駅から半径 500m、南阿佐ヶ谷駅から半径 250m を目安として、町丁目境や地形地物で区切った範囲とします。

- 阿佐ヶ谷駅と南阿佐ヶ谷駅の両駅周辺を一体的な拠点として捉え、広域的な役割や位置づけを含めて検討し、策定しました。
- 広域避難場所・一時避難地などの周辺地域との関係性に十分留意して策定しました。
- また、中杉通りの延伸整備の検討が今後進むことを見据えて、方針を策定しました。



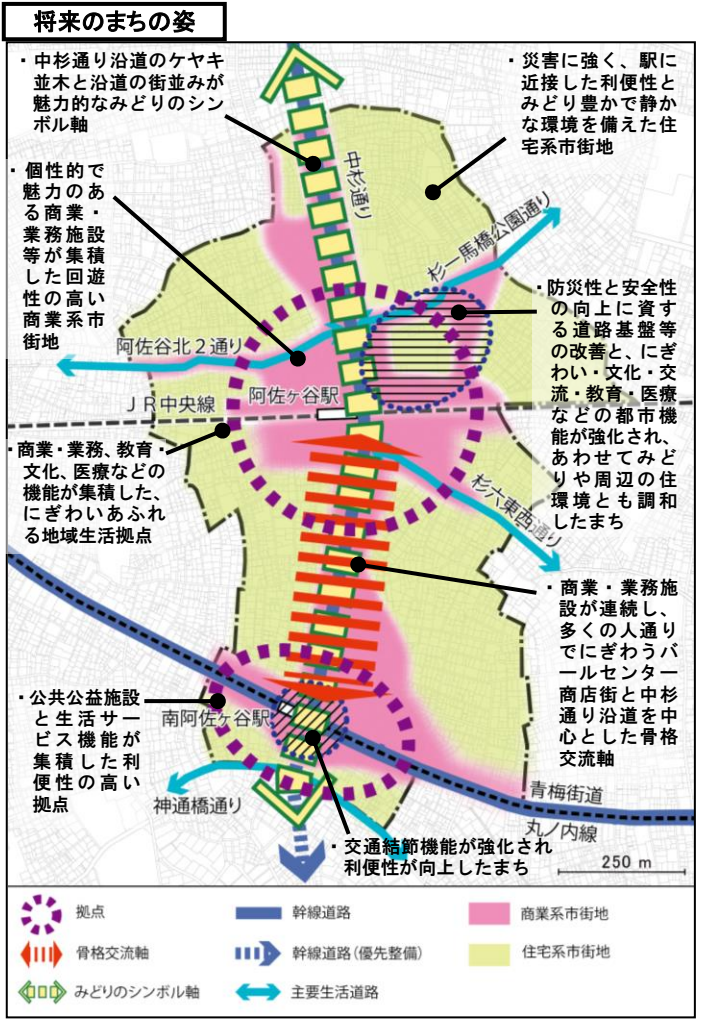
将来像

○杉並の安全を支える防災中枢拠点
○にぎわいとみどり豊かな住環境が共存し
住み続けたいまち

課題である防災性の向上や道路・交通体系の改善に取り組み、杉並の安全を支える防災中枢拠点としての充実を図るとともに、時代が変化しても、まちの特長は変わらず、さらに伸ばしていくことで、誰もが暮らしやすく、愛着を感じ、住み続けたいと思えるまちを目指します。

まちづくりの目標

- 目標Ⅰ 災害に強い安全・安心なまち
- 目標Ⅱ 体系的な道路・交通が整備された移動しやすいまち
- 目標Ⅲ にぎわいや利便性がさらに高まり、区民や来街者が集い回遊したくなるまち
- 目標Ⅳ みどり豊かで美しい景観を誇れるまち



取組の重点化と体系化

将来像の実現には、さまざまな分野別の取組を継続的に進める必要がありますが、着実かつ効果的にまちづくりを進めるため、次のとおり、重点化の視点と体系化の視点を踏まえ、4つのまちづくりを「重点的取組」とします。「重点的取組」については、より具体的なまちづくりの方向性を示すとともに、今後地域住民等と考え方の共通化を図り、優先的に取り組みます。

重点化 <視点①>安全・安心など、喫緊の課題の解決に効果の大きいもの
 <視点②>老朽化した施設の更新など、具体的なまちづくりのきっかけがあるもの

体系化 <視点>まちづくりの目標Ⅰ～Ⅳ(3ページ)のうち、3つ以上の目標の実現に向けて一体的に取り組むことが必要なもの

重点的取組(1) 阿佐ヶ谷駅北東地区のまちづくり

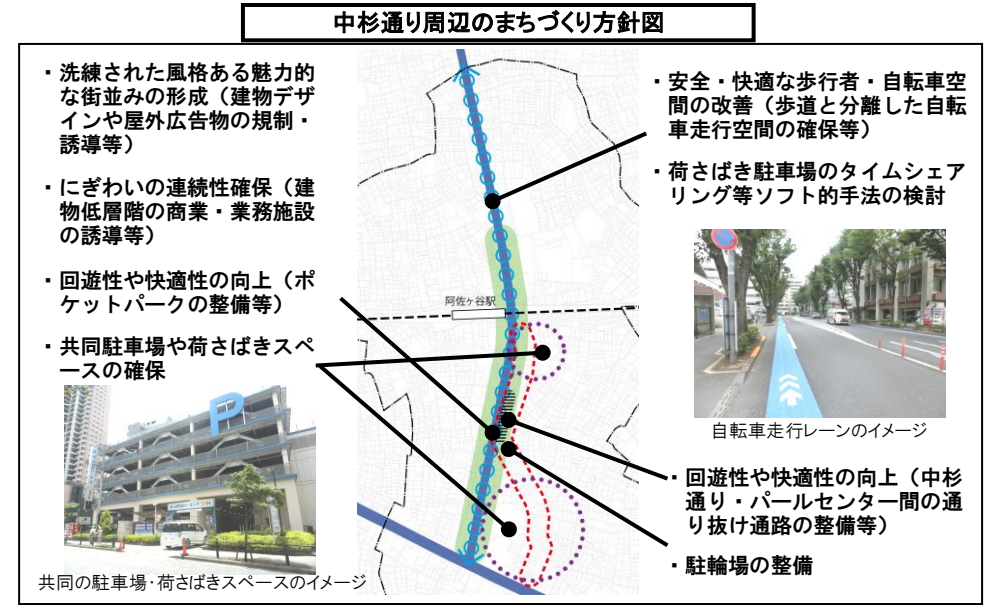
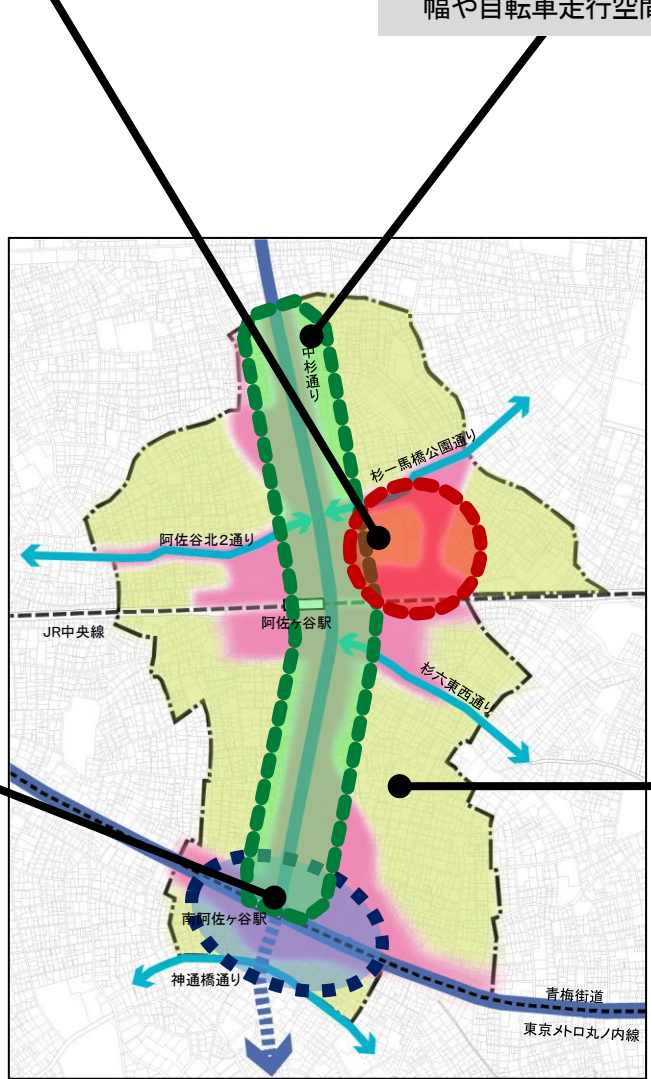
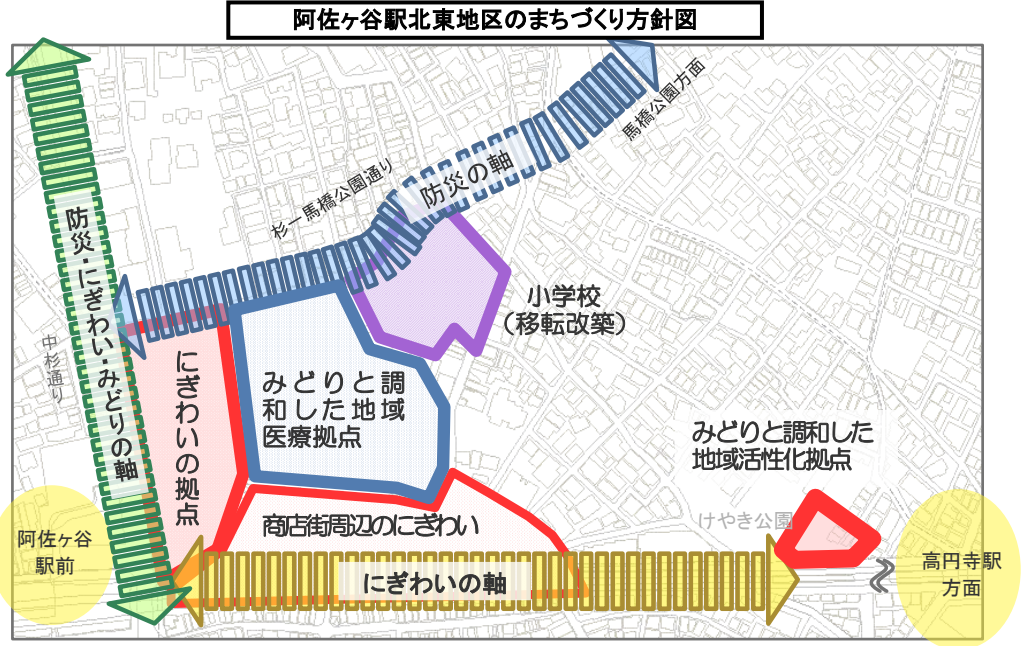
防災性・安全性の向上と、駅前にふさわしい都市機能の強化、みどりや住環境と調和したまちづくり

- 総合病院と小学校の移転改築に伴う土地利用転換を契機として、防災性と安全性の向上に資する道路基盤等の改善と、にぎわい・文化・交流・教育・医療などの都市機能を強化し、あわせてみどりや周辺の住環境とも調和したまちづくりを計画的に推進します。

重点的取組(3) 中杉通り沿道の安全・快適で魅力的なまちづくり

地域や関係機関との連携・協働による安全・快適で魅力的な沿道空間の形成

- ケヤキ並木を生かしながら、良好な街並み形成や沿道店舗等の連続性確保、歩行者・自転車の安全性・快適性の向上等により、地域の骨格交流軸として魅力的でにぎわいのある沿道空間の形成を図ります。
- 具体化に向けては、現在車道の片側1車線分を専有しているパーキング・メーターのスペースを、将来的に歩道の拡幅や自転車走行空間へ転用する等の対策について、地域の方々や関係機関との連携・協働のもと、実現を目指します。



重点的取組(2) 南阿佐ヶ谷駅周辺のまちづくり

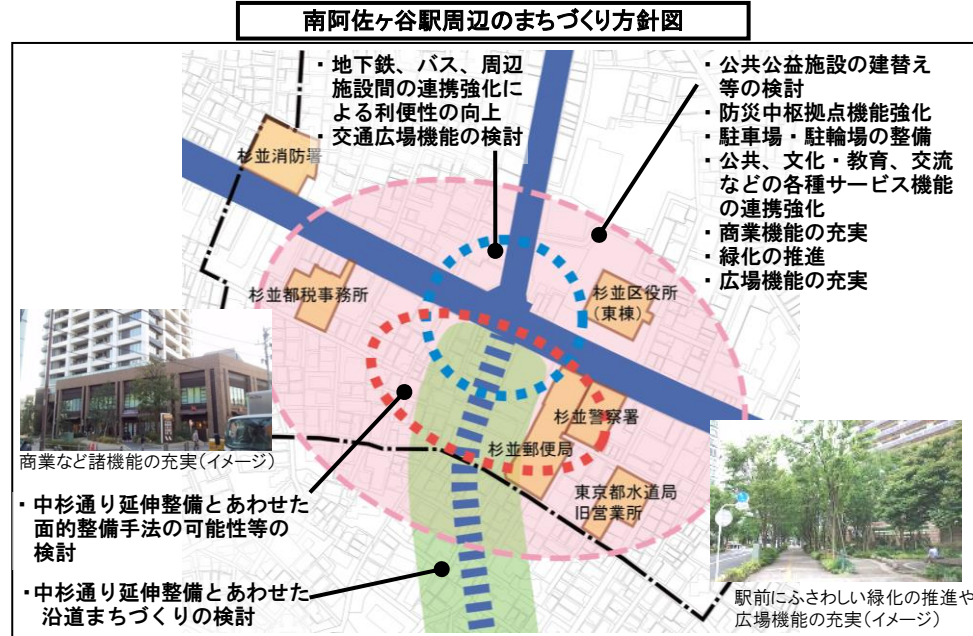
公共公益施設の更新や中杉通りの延伸を契機とした拠点性の向上

- 公共公益施設の更新や中杉通りの延伸整備を、数十年に1度のまちづくりの機会と捉え、各施設更新にあたっては、施設設置主体が相互に連携し、円滑かつ効率的な建替え等の検討と、区民の利便性向上やまちの活性化等を図ります。

重点的取組(4) 道路基盤の整備等による防災性の向上

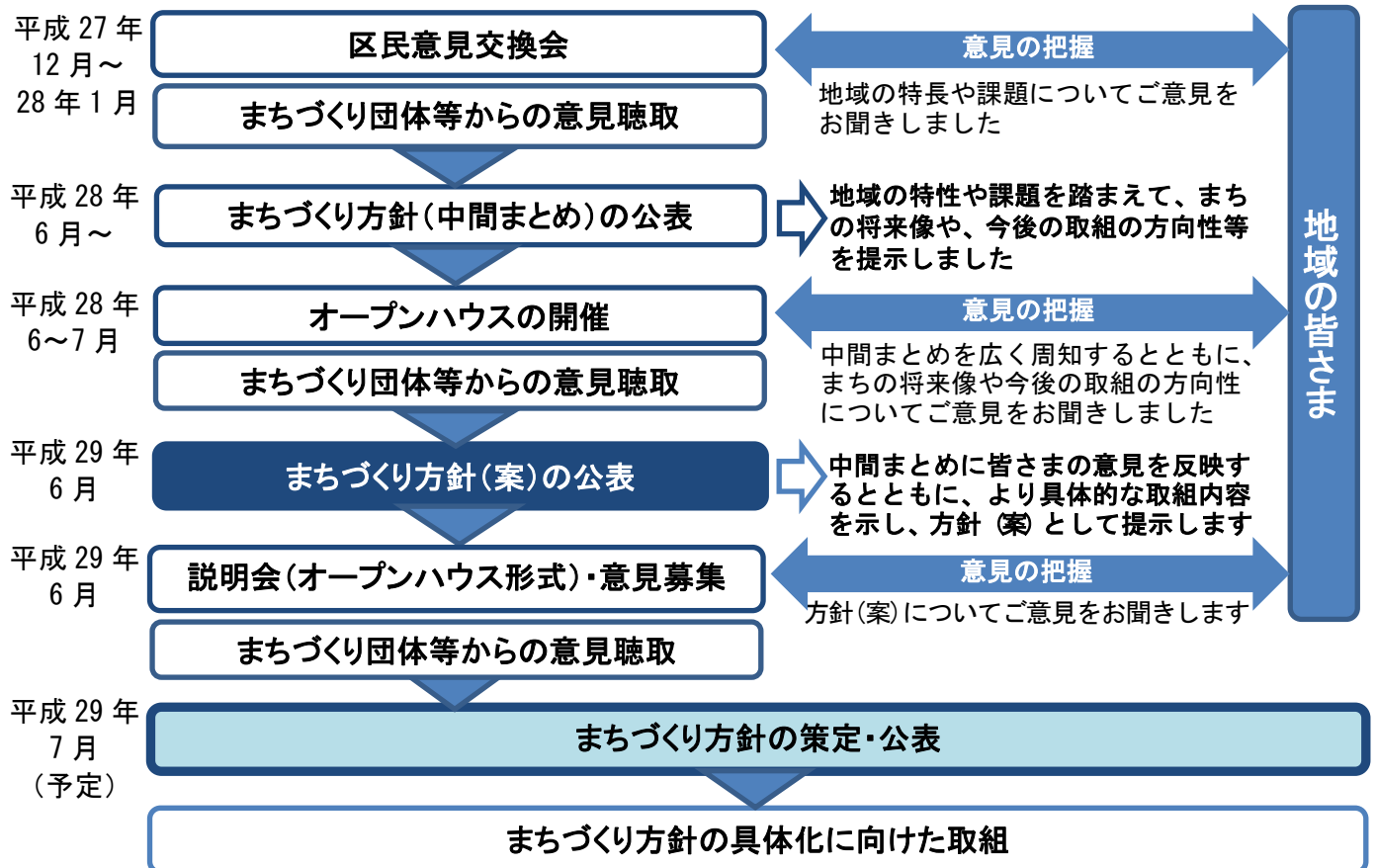
防災力の向上に資する道路基盤等の整備

- 防災や交通安全等の観点から、生活道路や狭い道路の拡幅等を通じて体系的な道路ネットワークの整備に取り組むとともに、無電柱化についても積極的に推進を検討します。
- 成熟した市街地である本地域での体系的な道路ネットワークの実現には課題がありますが、地域のまちづくりの契機を捉えるなど、整備効果の高いものから優先的に整備に取り組みます。



まちづくり方針の策定プロセス

まちづくり方針の検討は、以下のスケジュールで進めています。
今後、この案について説明会や意見募集を行ったうえで、まちづくり方針を策定します。



★上記の今後の取組やスケジュールは予定です。状況に応じて今後変更する場合があります。

まちづくり方針の実現に向けて

1. 区民・事業者・行政の協働によるまちづくりの推進

まちづくり方針の具体化にあたっては、区民・事業者・行政が、この方針で示すまちの将来像と目標、その実現に向けた取組の方向性を共有し、それぞれが担う役割と責務を果たしながら、協働してまちづくりを進めていく必要があります。

区では、まちづくり方針に基づき、行政主体の整備事業等の実施、民間事業等の適切な規制・誘導、区民主体のまちづくり活動の支援等に取り組むとともに、総合的な視点から、区民・事業者と連携した取組の進行管理と調整を図っていきます。

2. ハード・ソフトの取組の連携によるまちづくりの推進

まちづくり方針の実現に向けて、様々な地域資源の活用や、まちの特長と個性を生かすライフスタイルや住まい方を意識し、基盤整備等のハード面の取組と地域・産業・文化活動等のソフト面の取組の連携によるまちづくりを進めます。

区では、町会・自治会、商店会をはじめ、地域のまちづくり団体や NPO 等の多様な地域の関係者との意見交換や情報共有を行いながら、地域主体によるエリアマネジメント等、まちづくりのルールづくりや公共空間の効果的な利活用等の取組を積極的に支援します。

3. 戦略的・計画的なまちづくりの推進

区では、着実かつ効果的にまちづくりを進めるために設定した4つの重点的取組について、関係各課の連携のもと、本方針に基づき、計画的にまちづくりを推進します。重点以外のその他の取組についても、関連計画等に基づき実現を図るほか、地域のまちづくりの機運等を捉え、まちづくりを進めます。

区では、それぞれの取組の進捗状況や効果を検証するとともに、まちの動向や社会経済状況の変化等を踏まえ、おおむね5年を目途に本方針を見直すなど、まちづくりの実現に向けたフォローアップを行います。

■(参考)中間まとめ時点でのアンケート結果

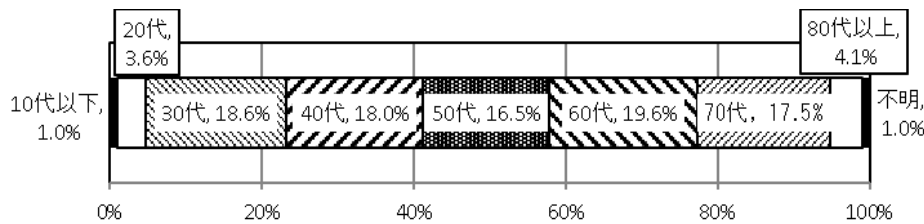
平成28年6月から7月にかけて、まちづくり方針（中間まとめ）について地域の方々にご説明し、ご意見をうかがうオープンハウスを、阿佐ヶ谷駅等周辺の3箇所で延べ5日間開催しました。

また、同じく平成28年6月と7月に、まちづくり団体等の方々に対してまちづくり方針（中間まとめ）を説明し、ご意見をうかがいました。

○オープンハウス等の来場者

- 来場者は延べ194名で、男女比はほぼ半々でした。
- 年齢層は20歳代が少なかったほかは、ほぼ偏りなく幅広い年代の方々にご来場いただきました。

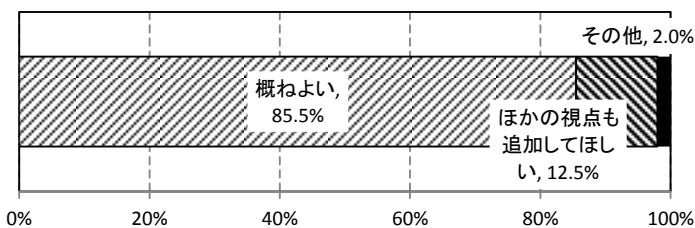
・オープンハウス等の来場者の年齢構成



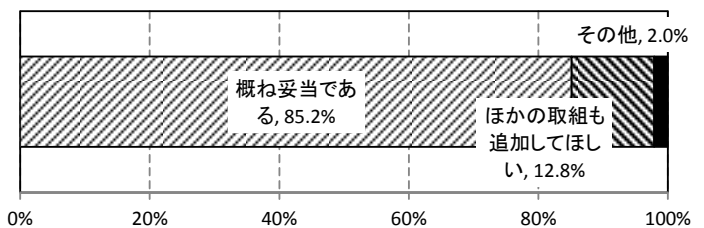
○来場者へのアンケート結果

- 中間まとめの将来像・目標と重点的取組の内容については、85%強の方におおむねよいとのご回答をいただきました。
- 中間まとめの内容のうち興味深かった内容としては、「将来像とまちづくりの目標」が最も多く、次いで、「重点的取組」、「地域の特性と課題」の順となりました。
- 4つの重点的取組のうち重要だと思うものについては、「中杉通りの魅力的な街並み形成と快適な歩行者・自転車空間の確保」が最も多く、次いで「道路基盤の整備による防災性の向上」が多くなりました。

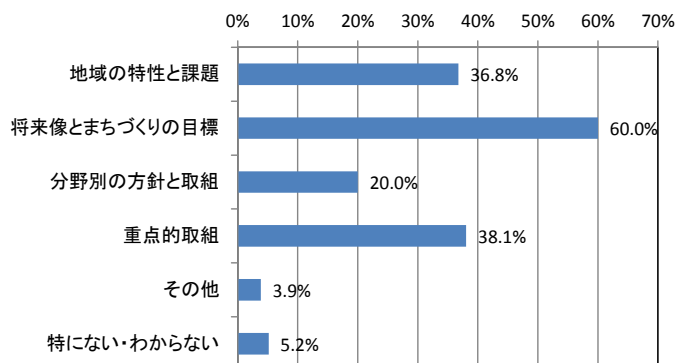
将来像・目標の妥当性 (n=152)



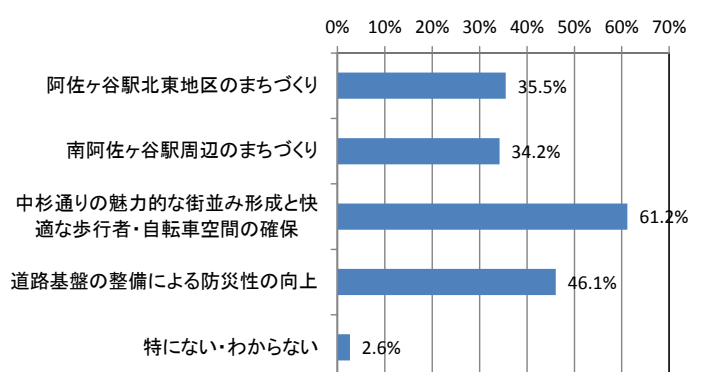
重点的取組の妥当性 (n=149)



興味深かった内容 (複数回答、n=155)



重要だと思う重点的取組 (複数回答、n=152)



意見用紙

件名：阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり方針(案)について

■お住まい

〔対象区域内：杉並区（ ）（ ）丁目〕

〔対象区域外：杉並区内 ・ 杉並区外〕

※対象区域：3ページのまちづくり方針の対象区域

■勤務先・通学先

〔対象区域内で勤務・営業・通学されている方のみ〕

〔杉並区（ ）（ ）丁目〕

任意記載欄

■お名前

〔 〕

■ご住所

〔 〕

※お名前・ご住所は公表いたしません。

<意見の提出方法>

様式は自由となっています。本用紙をご使用いただくか、参考にしていただき、下記の宛先までご意見をお寄せ下さい。

【意見募集期間】

平成29年6月12日(月)～6月26日(月) 必着

【宛先】

郵 送：〒166-8570 杉並区阿佐谷南 1-15-1

杉並区都市整備部まちづくり推進課拠点整備係 宛まで郵送してください。

FAX：03-3312-2907 までFAXしてください。

メール：tosisaisei-t@city.suginami.lg.jp までメールしてください。

持 参：・杉並区役所まちづくり推進課拠点整備係（西棟3F・10番窓口）

・阿佐谷地域区民センター受付窓口 のいずれかにご提出してください。

※施設ごとに休館日が異なりますのでご注意ください。